

# 杉本としたか県政レポート

**No.39**

2021年7月25日

県議会 6 月定例会に県民から出された請願は 8 件ありました。その採決が最終日 7 月 16 日に行われました。杉本県議はすべての請願の採択を求めて約 20 分間討論を行いました。県会議員は県民の声にどう向き合っているのか…請願への態度でよくわかります。

## 県民の願い実現を！ 杉本県議が全力で討論

8 請願（下表）について討論に立ったのは杉本県議のみ。採択されたのは「オーガニック・自然農法の推進」だけ。精神障害者 2 級の自動車減免は継続審査に。あとの 6 件に自民・公明はすべて反対。チームしがも、「日米地位協定の見直し」以外はすべて反対。日本共産党県議団は全てに賛成。長浜市選出の県議の態度は下表の通り。杉本県議の討論を紹介します。



### 【請願】生理用品の学校配布と設置

コロナ禍で女性の貧困が深刻な問題となり、生活困窮の児童・生徒が増え、生理用品購入が困難となり、不衛生な状態におかれている問題が明るみになりました。

「生理用品の無償配布を実現する会」発起人・代表の安齋和穂さんは、「トイレトペーパーと同じように学校や公衆トイレに自由に使える生理用品が当たり前置いてある、そんな世界を実現したい」とし、「SDGs の目標 5 に掲げられているジェンダー平等を真の意味で達成するためにも、女性の生理現象における、あらゆる負担をみんなで共有、理解しあうことが大切だ」と発信されています。

杉本県議は、「女性の生理は、人類が子孫を残すための必要不可欠の生理現象であり、ジェンダー平等を実現するためにもこの問題の解決は重要」と強調しました。

### 【請願】県立高校全県 1 学区制度の見直し

県立高校全県一区制度が導入されて 16 年。人口減少が進む湖北・湖西・甲賀等の高校と地域の活力低下は深刻です。教育関係者からは「全県一区を立ち止まって考える必要がある。高校は地域とともに歩む学校としての存在は大きいものであり、地域の活気にも大きくかかわっている」「全県一区制により、一部の学校に優秀な生徒が集中し、地域のバランスが崩れている」の声が出されています。長浜市の過疎化も深刻です。杉本県議は、「全県一区制を見直し、人口減少地域を考慮した通学区域の設定が必要だ」と主張しました。

### 【請願】コロナ禍による米価下落の対策

新型コロナウイルスの感染拡大のもと、コメの需要急減で価格が暴落しています。一方、コロナ禍で生活が困窮し「食べたくても買えない」という人も増えています。アメリカでは 10 兆円の予算を組んで、食料を買い取り、困窮者に配っています。杉本県議は、「自粛要請や緊急事態宣言など政府の政策によって、米が余る状況がつけられているのだから、政府がコメを買い上げ、米価下落の対策をとるべきだ」と訴えました。

(ウラ面につづく)

### 長浜市選出県議は議場でどのような態度をとっているか \ (◎o◎) /

| 6月定例会に県民から出された請願        | 杉本<br>敏隆 | 大橋<br>通伸 | 川島<br>隆二 | 柴田<br>清行 |
|-------------------------|----------|----------|----------|----------|
| オーガニック・自然農法の生産推進        | ○        | ○        | ○        | ○        |
| 生理用品の学校配布と設置            | ○        | ×        | ×        | ×        |
| 県立高校全県1学区制度の見直し         | ○        | ×        | ×        | ×        |
| 美浜原発3号機の運転停止            | ○        | ×        | ×        | ×        |
| 日米地位協定の抜本的見直し           | ○        | ○        | ×        | ×        |
| コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策   | ○        | ×        | ×        | ×        |
| 消費税インボイス制度の実施中止         | ○        | ×        | ×        | ×        |
| 精神障害者保健福祉手帳2級保持者の自動車税減免 | ○        | △        | △        | △        |

○賛成 ×反対 △継続審査

# 危険な老朽原発運転停止は市民の願い

## 【請願】美浜原発3号機の運転停止

運転開始から44年を超える美浜原発3号機が再稼働されましたが、2011年の福島第1原発事故後に決められた「原則40年」を形骸化させ、老朽原発の運転を常態化させることは、周辺住民をはじめ国民をいっそうの危険にさらす暴挙です。

機器の交換などが行われても、原子炉本体を取り換えることはできません。炉心から出る中性子線の照射によって原子炉圧力容器の鋼鉄の壁が次第にもろくなる「脆化（ぜいか）」も深刻です。老朽化し酷使されている原発ほど、事故時に、緊急炉心冷却装置が作動して冷却水が注入されたときの衝撃で圧力容器が割れる危険性が高いとされています。美浜3号機の運転開始は1976年12月。古い技術水準で設計されたことのリスクについての懸念も消えません。耐震補強がされても、つぎはぎだらけです。



美浜原発から近距離にある琵琶湖北部の4漁協がそろってこの請願を出されました。美浜3号機の再稼働は、生業も生活も根底から脅かすものであり、その運転停止を要望されるのは極めて当然のことです。

杉本県議は、「これは圧倒的多数の長浜市民や高島市民の声だ。県民の声に耳を傾け、事にあたるのが県会議員の使命だ」と賛同を求めましたが、他の長浜市・高島市選出県議6名はそろってこの請願に反対しました(\*\_\*)

## 【請願】日米地位協定の抜本の見直し

日米地位協定が在日米軍に世界に類のない異常な特権を保障しているために、日本にとって屈辱的事態が横行しています。杉本県議は、米軍機による低空飛行訓練、米軍犯

罪や米軍事故を日本側が裁けないこと、米軍基地からの汚染物質のたれ流しによる環境汚染を具体的に指摘。その異例さは、ドイツやイタリアと比べるとよくわかります。それらの国では、米軍の施設区域の使用や訓練・演習で国内法令が適用されますが、日本では航空法などの国内法は米軍に適用されません。訓練や演習でも、ドイツやイタリアでは、事前通告、許可、承認が必要ですが、日本では規制する権限もないし、通報すらされません。

日本で米軍の特権がかくもひどい形で続いているのは、戦後、占領軍として米軍が持っていた特権をそのまま引き継ぎだ日米地位協定が、戦後76年もたっているのに、今日まで一度も改定されていないからです。

杉本県議は、「全国知事会は2018年7月、『日米地位協定を抜本的に見直し、航空法や環境法令など国内法を原則として米軍にも適用させること』を求めた。これにならって、滋賀県議会が本請願を採択するべきだ」と訴えました。

## 【請願】消費税インボイスの中止を

消費税のインボイス（適格請求書）制度を2023年10月から実施することに伴う措置として、消費税の課税業者登録がこの10月から始まる予定です。

消費税課税業者にしか適格請求書は発行できません。年間課税売上高が1000万円以下の零細業者は消費税納税の義務はありません。適格請求書制度導入後、免税業者から仕入れていた課税業者は納税額が増えるため、取引を断るか、免税業者に課税業者への転換を迫ることになります。

免税業者から課税業者への転換が大規模に迫られ、重い税負担と煩雑な実務負担を避けるため廃業が相次ぐ恐れもあります。杉本県議は、「インボイスは、販売農家の約9割を占める売り上げ1000万円以下の農家にも大きな影響を与える」としてその中止を強く主張しました。

## 障害者歯科医療の質問が反響！ 歯科医さんからうれしいお手紙をいただきました

この度は7月5日の県議会本会議で「障害者歯科医療」について一般質問をしていただき誠にありがとうございました。私は、翌日に県議会のホームページにアップされた動画で杉本様の質問と滋賀県からの答弁を拝見いたしました。私の感想は、「この質問への県からの答弁で、やっとな本来の口腔衛生センター機能移転の議論ができる。滋賀県と滋賀県歯科医師会のお互いの立場からだけのやや身勝手な議論ではなく、障害者、利用者さんに健康な生活を送っていただくか？を一番目の議題にできるのではないかと不安をよく理解して頂き、本当に適切な内容で、まず、検討させてください」と知事に答弁させ、県に今までの会議では検討が足りなかったと認めさせて頂いたように思いました。「今、行っているサービスを向上させ、後退することがないようになりと取り組んでまいりたい」と知事に答弁させて頂いたところでは、妻とともに「今、向上させる、後退させないって言ったよね」ととても興奮し、何度も動画を見返してしまいました。健康医療福祉部長から引き出して頂いた答弁も、向かう方向に期待を抱かせていたにもかかわらず、今までの暗澹たる気持ちとは異なるものとなりました。本当に感謝しております。

杉本議員をはじめ共産党様の県民への愛情と議員のご質問によって、県民の目が「障害者歯科」「口腔衛生センター機能移転」に向くことで正しい方向に向かってほしいと期待しています。今後とも滋賀県の障害者歯科・センター機能移転の進捗をご注視して頂くようによろしくお願い致します。